

## 事後評価結果（平成21年度）

担 当 課：近畿地方整備局 道路部 道路計画第一課  
担当課長名：原 久弥

<b>事業名</b>	一般国道9号 <small>いっぽんやなぎ</small> 一本柳交差点改良	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	国土交通省 近畿地方整備局
<b>起終点</b>	自：兵庫県朝来市和田山町玉置 至：兵庫県朝来市和田山町玉置	<b>延長</b>	0.4km (国道9号) 0.3km (国道312号)		

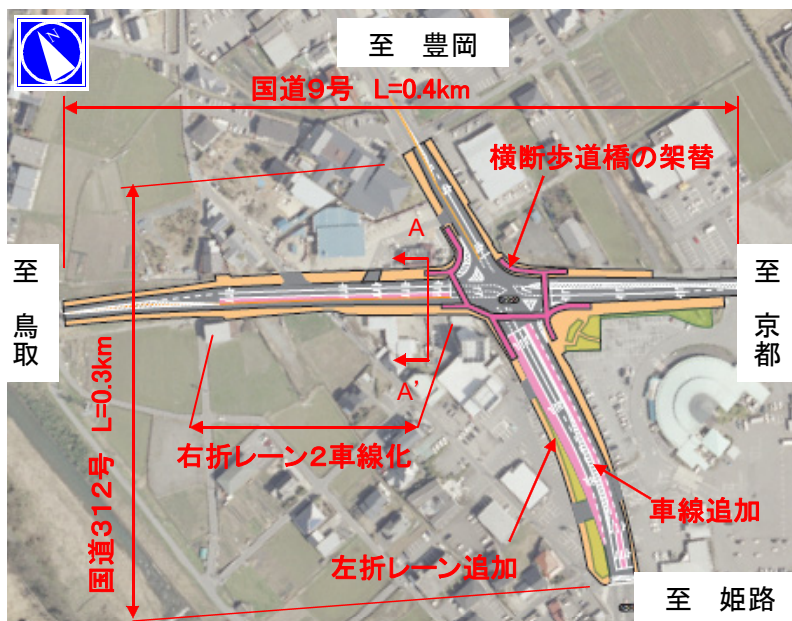
**事業概要**

一本柳交差点改良は、京阪神と山陰地方を結ぶ大動脈として利用され、但馬地域においては産業・経済を支える唯一の幹線道路でかつ地域の重要な生活道路としての役割を担う一般国道9号の交差点改良事業である。

**事業の目的・必要性**

一本柳交差点改良は、一本柳交差点の右折レーンの延伸や歩道橋の架け替えにより交通渋滞の解消と交通安全の確保を図るとともに、播但連絡道路や北近畿豊岡自動車道と合わせ、広域交流の促進や地域の活性化を促進することを目的としている。

**事業概要図**



<b>事業の 効果等</b>	<b>事業期間</b>	事業化年度:平成13年度 都市計画決定: -	用地着手:平成14年度 工事着手:平成13年度	供用年: (当初) - /H17 (暫定/完成) (実績) - /H17	変動	1.00倍	
	<b>事業費</b>	計画時 (名目値) - / 10.0億円 (暫定/完成) (実質値) - / 8.4億円	実績 (名目値) - / 8.4億円 (暫定/完成) (実質値) - / 8.0億円		変動	0.95倍	
	<b>交通量</b> (当該路線)	計画時 (暫定/完成) - / 10,700台/日	実績 (暫定/完成)	(H20年度) - / 13,261台/日	変動	1.24倍	
	<b>旅行速度向上</b> (供用前現道→当該路線)	39.4 km/h → 48.0 km/h (供用前年次) H11年度 (供用後年次) H20年度	<b>交通事故減少</b> (供用前現道→供用後現道)	343件/億台キロ → 193件/億台キロ (供用前年次) H13年度 (供用後年次) H19年度			
	<b>費用対効果分析結果</b> (当初)	B/C: 4.4	総費用: 11億円 (事業費: 8.8億円 維持管理費: 1.7億円)	総便益: 48億円 (走行時間短縮便益: 47億円 走行経費減少便益: 1.3億円 交通事故減少便益: 0.35億円)	基準年: H13年度		
<b>費用対効果分析結果</b> (事後)	B/C: 1.6	総費用: 14億円 (事業費: 9.4億円 維持管理費: 4.7億円)	総便益: 23億円 (走行時間短縮便益: 21億円 走行経費減少便益: 1.2億円 交通事故減少便益: 0.31億円)	基準年: H21年度			

	事業遅延によるコスト増	費用増加額 ; — 億円	便益減少額 ; — 億円
	事業遅延の理由 —		
事業の 効果 等	客観的評価指標に対応する事後評価項目		
	①地域の活性化 ・本事業や春日和田山道路の開通などに伴い、商業施設などが多数開業しており、地域生活の向上や地域経済の活性化を見ることが出来る。		
	②交通安全の確保 ・右折レーンの改良により、滞留車両が減少し直線車の見通しが良くなったため、支線から進入する車両による出会い頭衝突が減少。(交通事故件数：9件→5件) ・自転車利用空間が整備され、歩行者・自転車の通行の快適・安全性が向上		
	③バス路線の利便性向上 ・旅行速度の改善により全但バス、朝来市コミュニティバスの利便性が向上。 (旅行速度：(平日)39.4km/h→48.0km/h、(休日)38.7km/h→48.0km/h) ・交差点改良により右左折車による渋滞が解消。		
	④特急停車駅へのアクセス向上 ・朝来市役所朝来庁舎(旧朝来町役場)～JR和田山駅への所要時間が短縮。(19分→16分：3分短縮)		
	⑤日常生活圏中心都市へのアクセス向上 ・朝来市役所朝来庁舎(旧朝来町役場)～養父市中心部(旧八鹿町)への所要時間が短縮。 (37分→34分：3分短縮)		
	⑥主要観光地へのアクセス向上 ・北近畿豊岡自動車道和田山IC～城崎温泉への所要時間が短縮。 (72分→69分：3分短縮、城崎温泉の観光入込客数：954万人(H20年度))		
	⑦高度医療施設へのアクセス向上 ・朝来市役所朝来庁舎(旧朝来町役場)～公立豊岡病院への所要時間が短縮。(69分→66分：3分短縮)		
	その他評価すべきと判断した項目 特になし		
事業 による 環境 変化	環境影響評価に対応する項目 ・環境影響評価は実施していない。		
	その他評価すべきと判断した項目 特になし		
	事業評価監視委員会の意見 審議の結果、「国道9号一本柳交差点改良」の完了後の事後評価は、事業評価監視委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に行われており、対応方針(案)のとおりでよいと判断される。		
	事業を巡る社会経済情勢等の変化 但馬地域の観光入込客数は横ばい傾向にある。1世帯当たりの自動車保有台数も横ばい傾向にあるが、近畿平均、兵庫県平均と比較すると約2倍となっており自動車への依存が見られる。		
	今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 一本柳交差点改良により、一般国道9号及び一般国道312号における安全で円滑な交通の確保、混雑緩和などの効果が確認されるなど効果の発現状況に特に問題はなく、今後の事後評価の必要性は生じていない。また、一本柳交差点改良は想定された効果が十分に発揮されており、当面の改善措置の必要性は生じていない。		
	計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 一本柳交差点改良に関して、特に参考となる事項は見られなかったため、同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性は生じていない。		
	特記事項 特になし		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。